

2026
月刊



すざかしどうぶつえん

8月号 No.304

がつ きゅうえんぴ
8月の休園日：3日（月）、10日（月）、17日（月）、24日（月）、31日（月）

☆ 今月のイベント ☆

8月の毎週土曜日は…

【サタデー・ナイト・ズー】

→8月1日、8日、15日、22日、29日の5日間

★開園時間を夜の9時まで延長！夜の特別イベントも盛りだくさん！！

★本園のみの開催です。南園は16時45分で閉鎖となります。

【夏休みの自由研究を動物園でしよう】

→8月の毎週土曜日(8月1日、8日、15日、22日、29日)の5日間！

●「自分だけのドリーム動物園を考えてみよう」

●この羽、だれの羽??もっと!鳥の羽を調べよう!

【募集期間】2026年7月7日(火曜日)～8月28日(金) ※実施日前日までに要予約

くわ ないよう
イベントの詳細い内容はホームページをみてね!



中学生以上を
対象とした
自由研究(有料)



スザッチ



☆ カンガルーのケンカのヒミツ ☆

ちからづよ ようちゅうい
カンガルーの力強いキックには要注意!

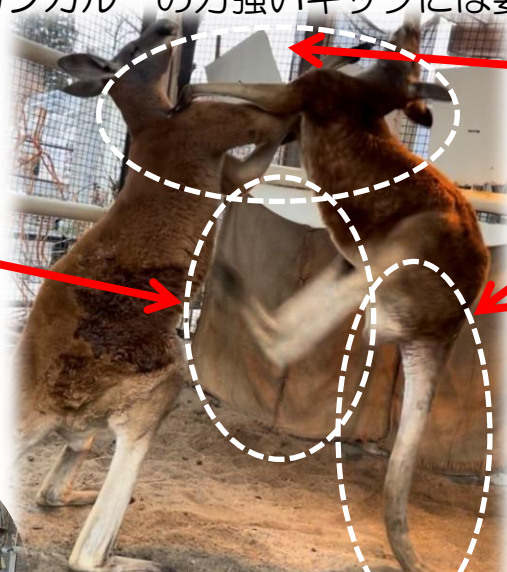
カンガルーのまえあし

パンチはできないよ!
あいて つか
相手を掴もうとしているよ!

カンガルーのしっぽ

キックをするときは
しっぽ ささ
尻尾で体を支えて立つよ!

第三のあしとも呼ばれるよ!



ふだん よ そ ね
普段は寄り添って寝ているよ!
とっても仲良しです



サンドバックでも
ひび きた
日々鍛えてるよ



1番強いオスが
モテるんだぞ♡
(順位争い)

★強くなるために力の近い者同士で特訓中★

【ホオジロカンムリヅル「官兵衛」巣作りに夢中】

ホオジロカンムリヅルは、アフリカ東部～南部の高温で乾燥した草原に生息するツルの仲間です。

年間を通して気温変化は小さいですが、雨季と乾季のある気候なので、大事な卵を守らなければならない繁殖期は、雨季を避けた時季としています。

日本で飼育されている場合は、春～夏の気温が高い時季が繁殖期に適しています。野生下では、草原の枯れ草などを地面に積んで巣を作ります。

当園には、オスの官兵衛1羽だけなのですが、毎年巣作り行動が見られます。官兵衛の場合は、3月下旬ごろにスイッチが入り始め、舎内に落ちていた枝や小石をくちばしでつまんで一定の場所に集めたり、冬季の保温用に敷いていた干草を寄せ集めたり、毎年作る場所も巣の材料も様々です。時には、同居のシロクジャクの抜け落ちた羽根を巣に混ぜることもあります。

今年は、干草を集めてふかふかベッドのような巣ができました。残念ながら、今のところ相手になる個体がないので、巣を作っても予定通りの使い道にはならないのです。それでも官兵衛は、日々巣の様子を念入りに確認して形を整えたり、巣材を追加したりと、一生懸命です。

巣作り作業中は、静かに喉をグルルル～グルルル～と鳴らすような声が聞こえるので、そっと覗いてみてください。

ホオジロカンムリヅル担当 笹井



ワオキツネザルの体温調節

夏本番を迎え、毎日暑い日が続いています。

私たち人間は、体温が上がると汗をかいたり、皮膚から空気中に熱を逃がしたりすることで体温を調節しています。では、動物たちはどのようにして体温調節をしているのでしょうか。

人間のように汗をかいて体温を下げることができる動物は、ウマなど限られた動物しかいません。

アライグマが夏に行う体温調節は、毛づくろいをして体毛や皮膚を唾液で濡らし、その水分が蒸発するときの気化熱で体温を下げたり、イヌなどでも見られる口を開けて速い呼吸を行う「パンティング」をしたりして体温を下げています。アライグマは、もともと水辺を好む野生動物なので、川や池に体を浸すことで物理的に体温を下げています。

ワオキツネザルは、体温調節機能があまり発達していないため、自力で体温を保つことが苦手な動物です。体温が低い時には、日向で座りながら両手を広げていたり、群れで固まってストーブで暖まっていたりします。同時に、体を冷やすのも苦手な暑さにも弱いいため、日陰でじっとしている様子が見られます。

展示場の上の方が涼しいのか、天井近くにいることが多いので見づらいとは思いますが、ワオキツネザルたちを探してみてください。

ワオキツネザル担当 永井



須坂市動物園／臥竜公園管理事務所

TEL:026-245-1770 FAX:026-248-1793

HPもチェックしてね！

